

2018年2月6日

受益者の皆さまへ

三井住友アセットマネジメント株式会社

弊社ファンド（外国株式投信）の基準価額下落について

（2月6日の基準価額の変動要因についてのお知らせ）

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

2018年2月6日、以下のファンドの基準価額が前営業日比5%以上の下落となりましたので、要因等についてご報告致します。

1. 基準価額が前営業日比5%以上下落したファンドの名称とその状況

ファンド名	基準価額（円） （2018年2月6日）	前営業日比（円） （2018年2月5日比）	変動率
ベトナム株式ファンド	21,461	-1,133	-5.01%
三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド（為替ノーヘッジ型）	16,180	-952	-5.56%
三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスオープン	17,273	-1,010	-5.52%
三井住友・NYダウ・ジョーンズ指数オープン（為替ヘッジなし）	16,087	-941	-5.53%

2. 基準価額の変動要因等について

2月2日、米国では堅調な雇用統計の発表を受けて金融当局による利上げペースが早まるとの見方が広まり、株価が急落しました。米国株式の急落を受けて株安の動きは世界的に波及し、投資家のリスク・オフ（リスク回避）姿勢が強まりました。

週明け2月5日も世界的にリスク・オフの動きが続き、なかでも年初から大きく上昇（2日までで年初来+12.4%）していたベトナムの株式市場で利益確定の売りが強まりました（VNインデックスでみると前日比5.1%下落）。その後、米国時間にリスク・オフの動きが一段と強まり、米国株式は一段と下落しました（ダウ・ジョーンズ工業株価平均指数でみると前日比4.6%下落）。

為替市場では、世界的な株式市場の下落とリスク・オフの動きを受けて、円が米ドルなどに対して大きく上昇しました。

これらのことが上記ファンドの基準価額下落の主な要因となりました。

3.今後の見通し

米国株式市場は、利上げペースをめぐる思惑などから動きの荒い展開が続く可能性があります。ただし、足元で経済指標や企業業績が良好ななか、昨年末の税制改革法案の成立により先行きの消費や企業の設備投資の拡大期待も加わり、株価を支えるファンダメンタルズ（経済の基礎的諸条件）は堅調です。短期的な調整局面後は、緩やかな上昇トレンドへ戻ると考えています。

ベトナム株式市場は、足元で若干過熱感が見られたこともあり、短期的には米国を中心とした世界的な株価動向に左右され、動きの荒い展開が続く可能性があります。ただし、ベトナムのファンダメンタルズは、2018年の実質GDP（国内総生産）成長率は前年比+6.7%程度の高成長が見込まれるなど、良好です。インフレも低位で、ベトナムドンも比較的安定した動きが続いていました。ベトナム株式市場も、短期的な調整局面後は堅調なファンダメンタルズを背景に、緩やかな上昇トレンドへ戻ると考えています。

以上

【当資料のご利用にあたっての注意事項】

- この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。一般社団法人投資信託協会規則に基づき制定した当社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等ができないことがありますのでご注意ください。
- 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に市場環境にかかるデータ・分析、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは当資料作成時点のものであり、将来の市場環境・運用成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、または分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更されることがあります。